第37号（第37条関係）

許可事項抹消申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第８条第３項の規定により、失効し、又は取り消された許可に係る事項の抹消を以下のとおり申請します。

年　月　日

公安委員会殿

申請人	ふりがな		電話番号
	氏名		
許可証	許可証等の番号	第　　号	
	交付年月日等	年　月　日　公安委員会	
抹消に係る許可	許可番号	第　　号	
	許可年月日	年　月　日	
	許可者	公安委員会	
	銃の種類	□猟銃　□空気銃	
抹消を受ける理由			
銃の処分状況			

備考　［削る。］

1　銃の種類欄には、該当する銃種の□内にレ印を記入すること。

2　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

第36号（第36条関係）

銃砲刀剣類所持許可証等返納届出書

銃砲刀剣類所持等取締法第　条　　第　項の規定により、を次のとおり返納します。

年　月　日

公安委員会殿

届出人	許可所持者との関係	□本人　□その他（　　）
	住所	
	ふりがな	
	氏名	
	生年月日	年　月　日
	電話番号	
返納する許可証等	許可証等の種別	□許可証（法第８条第２項） □教習資格認定証（法第９条の５第３項） □練習資格認定証（法第９条の10第３項） □年少資格認定証（法第９条の15第２項）
	許可証等の番号	第　　号　公安委員会
	交付年月日	年　月　日
返納の理由		
銃砲又は刀剣類の種類及び処分状況		

備考　［削る。］

1　法第９条の５第３項（法第９条の10第３項において準用する場合を含む。）又は法第９条の15第２項において準用する法第８条第２項の規定により届出を行う者にあつては、銃砲又は刀剣類の種類及び処分状況欄の記載を要しない。

2　許可所持者との関係欄には、該当するものの□内にレ印を記入するとともに、その他の場合には（　）内に具体的な関係を記載すること。

3　許可証等の種別欄には、返納する許可証等の□内にレ印を記入すること。

4　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

第37号（第37条関係）

許可事項抹消申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第８条第３項の規定により、失効し、又は取り消された許可に係る事項の抹消を以下のとおり申請します。

年　月　日

公安委員会殿

申請人	ふりがな		電話番号
	氏名	㊞	
許可証	許可証等の番号	第　　号	
	交付年月日等	年　月　日　公安委員会	
抹消に係る許可	許可番号	第　　号	
	許可年月日	年　月　日	
	許可者	公安委員会	
	銃の種類	□猟銃　□空気銃	
抹消を受ける理由			
銃の処分状況			

備考　1　申請人は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

2　銃の種類欄には、該当する銃種の□内にレ印を記入すること。

3　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

第36号（第36条関係）

銃砲刀剣類所持許可証等返納届出書

銃砲刀剣類所持等取締法第　条　　第　項の規定により、を次のとおり返納します。

年　月　日

公安委員会殿

届出人	許可所持者との関係	□本人　□その他（　　）		
	住所			
	ふりがな		性別	男・女
	氏名	㊞		
	生年月日	年　月　日		
	電話番号			
返納する許可証等	許可証等の種別	□許可証（法第８条第２項） □教習資格認定証（法第９条の５第３項） □練習資格認定証（法第９条の10第３項） □年少資格認定証（法第９条の15第２項）		
	許可証等の番号	第　　号　公安委員会		
	交付年月日	年　月　日		
返納の理由				
銃砲又は刀剣類の種類及び処分状況				

備考　1　届出人は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

2　法第９条の５第３項（法第９条の10第３項において準用する場合を含む。）又は法第９条の15第２項において準用する法第８条第２項の規定により届出を行う者にあつては、銃の処分状況欄の記載を要しない。

3　許可所持者との関係欄には、該当するものの□内にレ印を記入するとともに、その他の場合には（　）内に具体的な関係を記載すること。

4　許可証等の種別欄には、返納する許可証等の□内にレ印を記入すること。

5　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。